

# 令和3年度 高知県の後期高齢者医療費の概況

## 1. 後期高齢者医療制度について

### (1) 後期高齢者医療制度の概要

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の負担を高齢者世代と現役世代で明確にし、公平で分かりやすい制度とする観点から、原則75歳以上の方を対象とした医療保険制度として、平成20年4月に創設されました。

※制度についてのより詳しい説明は、ホームページ上の「後期高齢者医療制度の概要」などをご覧ください。

### (2) 後期高齢者医療制度の対象者

- ①75歳以上の方
- ②65歳以上75歳未満で寝たきり等の一定程度の障害の状態にあることについて後期高齢者医療広域連合の認定を受けた方

### (3) 後期高齢者医療費とは

後期高齢者医療費とは、入院診療費、外来診療費、歯科診療費、調剤費用、入院時食事・生活療養費、訪問看護療養費など、一部負担金(医療機関の窓口で支払う患者負担金)を含めた医療費の合計額のことです。

ただし、健康診断や予防接種などの自費診療分は除きます。

## 2. 後期高齢者医療費の財源構成について

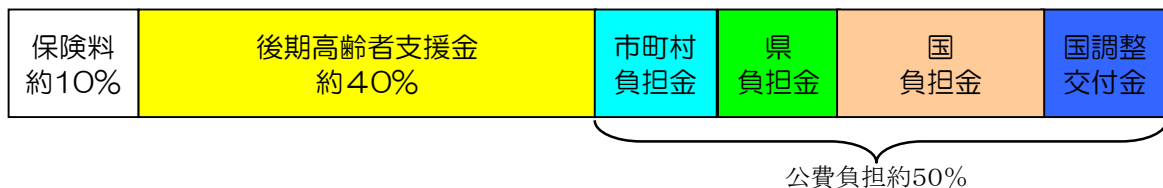
一部負担金を除いた後期高齢者医療費は、被保険者からの保険料が※約10%、現役世代が加入する各医療保険者(国保、協会けんぽ、共済等)からの後期高齢者支援金が約40%、残り約50%を国、県、市町村が4:1:1の割合で負担(公費負担)します(表1-1、表1-2参照)。

ただし、現役並み所得者(原則、課税所得が145万円以上の方)の一部負担金を除いた医療費については公費負担がありません。

※保険料の割合は、2年ごとに政令で定められ、平成28、29年度は10.99%、平成30年度、令和元年度は11.18%、令和2、3年度は11.41%、令和4、5年度は11.72%となっています。

表1-1

一部負担金を除いた医療給付費の財源構成

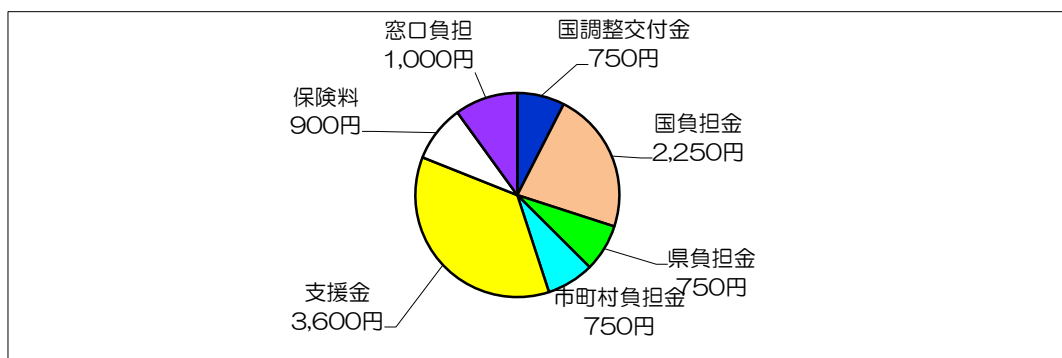


※現役並み所得者については公費負担がありません。

表1-2

総医療費が1万円の場合の財源構成

・医療機関での窓口負担が1割、保険料の割合を10%とした場合の例



### 3. 高知県の後期高齢者医療費の状況

#### 【状況】

令和3年度の高知県の後期高齢者医療費は、約1,491億円で、前年度に比べ、約20億円、1.4%増加しています(表2-1参照)。

また、平均被保険者数は127,211人で、前年度に比べ、389人、0.3%減少しており(表2-2参照)、一人当たりの医療費は、約1,172千円で、前年度に比べ、約19千円、1.7%増加しています(表3参照)。

#### 【本県の医療費が高い要因】

高知県の医療費が高い要因は、1人当たりの入院医療費が高い(全国第1位)ことが挙げられます。これは、人口10万人当たりの病床数が多い上に、入院受診率が高く、入院期間が長期化していることが影響しているものと考えられます。

- ①人口10万人当たりの病床数(介護療養病床除く)が全国第1位で全国平均の約1.9倍(令和3年度)
- ②入院受診率が非常に高く、全国第1位(令和3年度)
- ③入院レセプト1件当たりの入院日数が全国第1位(令和3年度)
- ④平均在院日数(介護療養病床除く)が全国第1位(令和3年度)

表2-1 医療費の推移

年度	総額(億円)	対前年度比
平成29年度	1,464	102.7%
平成30年度	1,482	101.2%
令和元年度	1,507	101.7%
令和2年度	1,471	97.6%
令和3年度	1,491	101.4%

表2-2 被保険者数の推移(3~2月末平均)

年度	被保険者数(人)	対前年度比
平成29年度	125,016	101.2%
平成30年度	125,771	100.6%
令和元年度	127,354	101.3%
令和2年度	127,600	100.2%
令和3年度	127,211	99.7%

表2-1グラフ

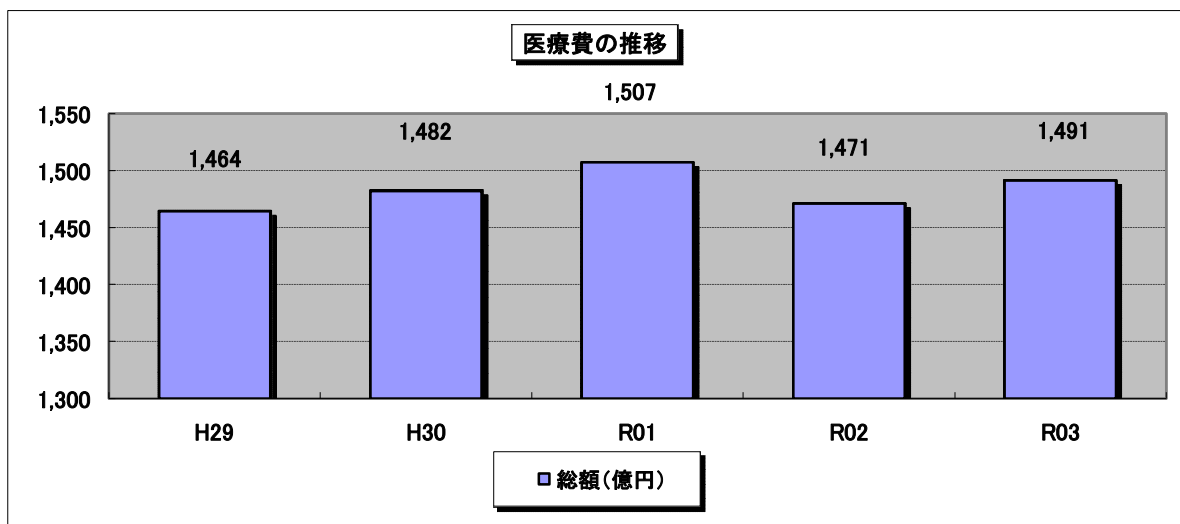


表2-2グラフ

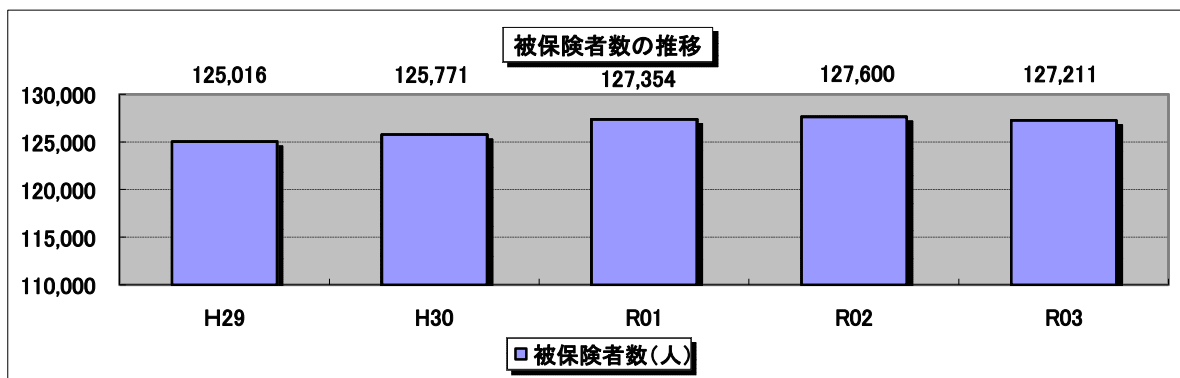
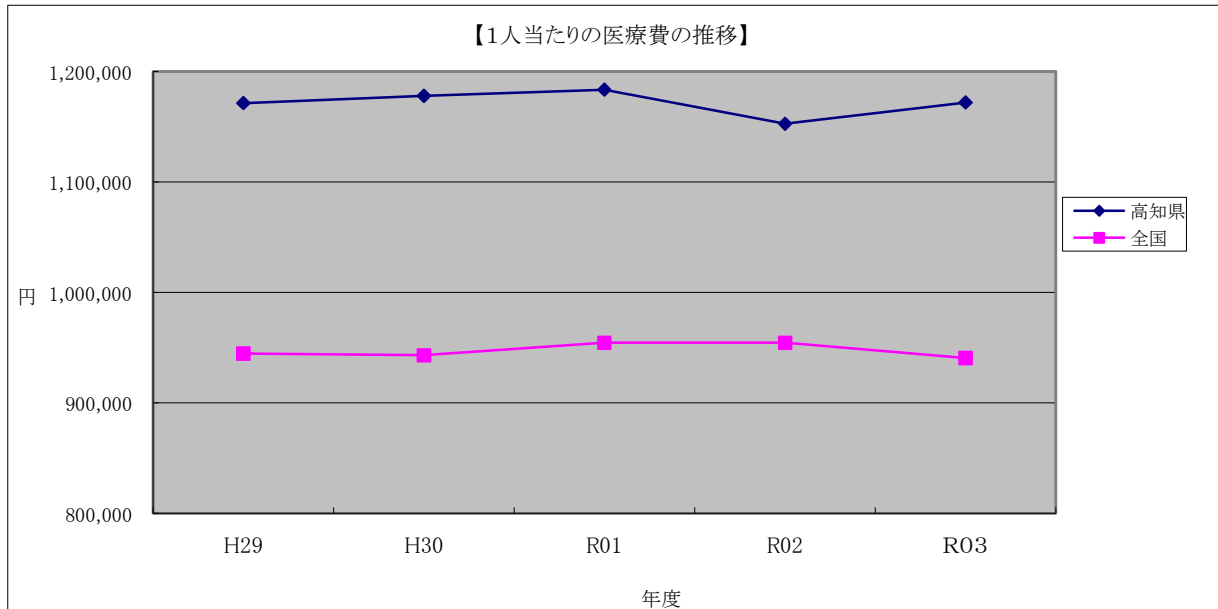


表3

1人当たりの医療費の推移

年度	実数(円)/年	対前年度比	全国平均(円)/年	対全国比	全国順位
平成29年度	1,171,339	101.5%	944,561	124.0%	2位
平成30年度	1,178,054	100.6%	943,082	124.9%	2位
令和元年度	1,183,694	100.5%	954,369	124.0%	2位
令和2年度	1,152,631	97.4%	917,124	125.7%	1位
令和3年度	1,172,055	101.7%	940,512	124.6%	2位

表3グラフ



(表1, 2, 3の数値について)

H29～R03年度は「後期高齢者医療事業報告書(厚生労働省発行)」の数値。

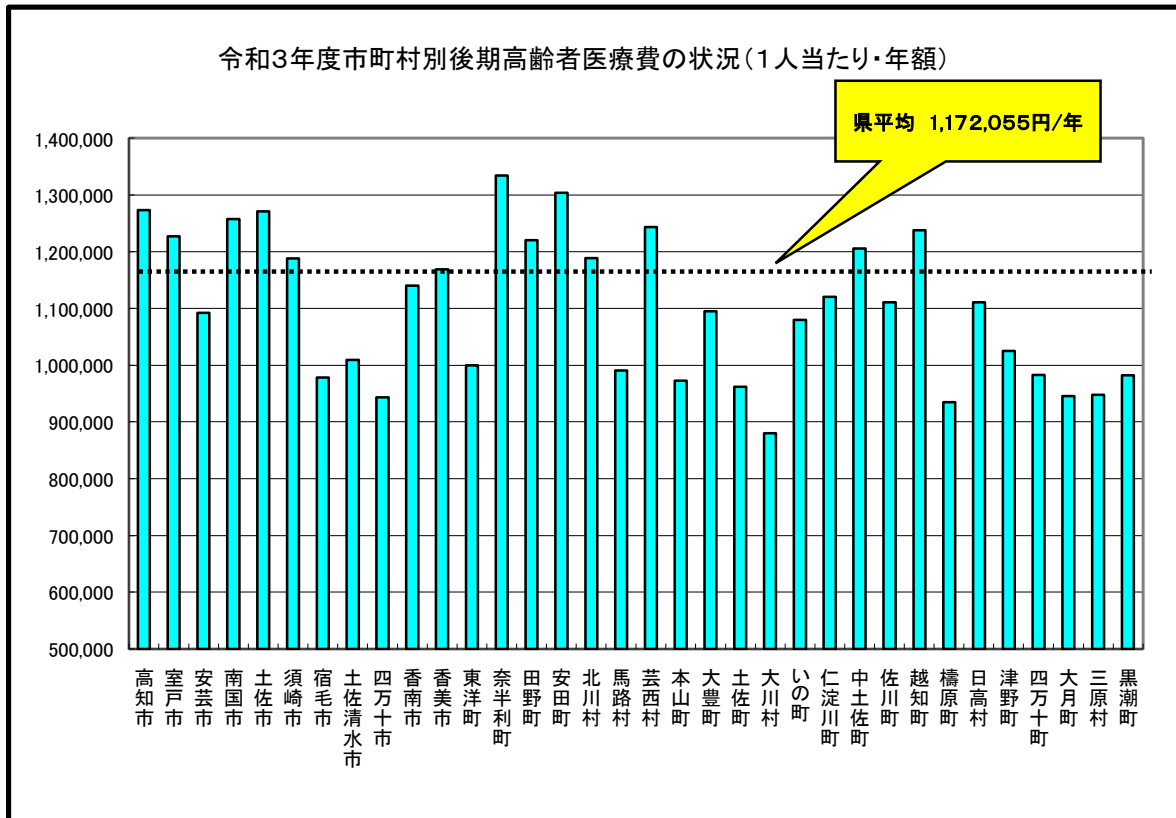
## 4. 市町村別後期高齢者医療費について

表4 令和3年度 市町村別後期高齢者医療費の状況

市町村名	後期高齢者医療被保険者数 (3~2月平均被保険者数)	医療費(円)	1人当たり医療費(円)			
			月額	年額	県平均を100とした指数	順位
高知市	47,496	60,467,469,012	106,092	1,273,098	108.6	3
室戸市	3,265	4,007,395,411	102,282	1,227,255	104.7	8
安芸市	3,619	3,952,308,985	91,008	1,092,225	93.2	19
南国市	7,518	9,457,506,973	104,832	1,257,912	107.3	5
土佐市	5,094	6,474,072,718	105,910	1,270,880	108.4	4
須崎市	4,474	5,314,615,847	98,991	1,187,911	101.4	12
宿毛市	3,833	3,750,939,616	81,549	978,570	83.5	27
土佐清水市	3,554	3,586,004,921	84,084	1,009,005	86.1	22
四万十市	6,164	5,813,897,610	78,600	943,228	80.5	32
香南市	5,513	6,285,555,798	95,011	1,140,168	97.3	14
香美市	5,719	6,684,853,822	97,407	1,168,800	99.7	13
東洋町	625	624,486,794	83,265	999,979	85.3	23
奈半利町	754	1,005,747,528	111,157	1,334,325	113.8	1
田野町	617	752,292,443	101,606	1,220,263	104.1	9
安田町	664	865,603,838	108,635	1,303,784	111.2	2
北川村	325	385,691,705	98,895	1,188,267	101.4	11
馬路村	213	210,816,237	82,479	990,911	84.5	24
芸西村	760	944,215,175	103,532	1,243,206	106.1	6
本山町	945	919,266,333	81,064	972,340	83.0	28
大豊町	1,235	1,351,865,239	91,219	1,094,849	93.4	18
土佐町	981	943,993,253	80,190	961,868	82.1	29
大川村	95	83,885,868	73,584	879,922	75.1	34
いの町	4,478	4,834,809,115	89,973	1,079,701	92.1	20
仁淀川町	1,756	1,967,154,136	93,354	1,120,566	95.6	15
中土佐町	1,736	2,093,185,420	100,479	1,205,752	102.9	10
佐川町	2,678	2,974,922,807	92,573	1,110,979	94.8	16
越知町	1,431	1,771,440,370	103,159	1,237,688	105.6	7
檮原町	881	823,960,993	77,938	934,991	79.8	33
日高村	1,131	1,255,946,957	92,540	1,110,966	94.8	17
津野町	1,470	1,506,897,060	85,425	1,025,158	87.5	21
四万十町	4,049	3,979,470,490	81,902	982,474	83.8	25
大月町	1,209	1,143,174,834	78,796	945,880	80.7	31
三原村	409	387,295,617	78,911	948,092	80.9	30
黒潮町	2,523	2,477,896,730	81,844	982,318	83.8	26
県	127,211	149,098,639,655	97,671	1,172,055	100.0	

・高知県後期高齢者医療広域連合による数値

表4グラフ 令和3年度市町村別後期高齢者医療費の状況(1人当たり・年額)



【市町村別医療費の状況】

県内の後期高齢者医療被保険者数の約5割を占め、県中央部での一人当たりの医療費が高く、高知市(3位)、土佐市(4位)、南国市(5位)、そのことが高知県の医療費を押し上げる要因となっています。また、奈半利町(1位)、安田町(2位)、芸西村(6位)をはじめとする県東部地域では、医療費が高い傾向にあり、逆に三原村(30位)、大月町(31位)、四万十市(32位)など県西部地域では、低い傾向にあります。